

活動No	H22-5	実施河川レンジャー	西・廣岡河川レンジャー(合同活動)
活動名	木津川『いい川』づくり交流会議		
実施日	平成23年3月13日(日) 14:00～16:00		
実施場所	上野遊水地集中管理センター資料室		
活動目的	<p>木津川上流管内・淀川管内の河川レンジャーによる意見交換や情報交換を行い、活動実施時の問題点や課題を整理し今後の活動の充実を図るとともに、上下流の連携について考える。</p> <p>また、流域で活動されている方々との交流を深め、“木津川の『いい川』づくり”をテーマに、今後の連携による取り組みや活動の実践についての意見交換を行う。</p>		
参加者	7名（淀川管内河川レンジャー3名、市民活動団体4名）		
活動内容	<p>①意見交換会 14:00～16:00</p> <p>はじめに参加者による自己紹介を行い、木津川の『いい川』づくりをテーマに、上下流の連携による取り組みや活動内容の検討、河川レンジャーと自治体・市民活動団体等との関わり方等について意見交換会を行った。</p>		
講師	なし		
意見交換会要旨	<ul style="list-style-type: none"> ○昔は川で遊んでいたが、年々汚れてきている。背骨が曲がった魚も見つかっている。 ○川には親しみがある。後世に残していくためにも木津川のいい川づくりにみんなで取り組んでいきたい。 ○上流に住む人間は下流に汚い水を流してはいけない。子供たちが川くんだりやカヌーができる川を残していかなければならない。 ○子供の体験学習を通して大人も巻き込んでいきたい。 ○「ごみを捨てるな」ではなく、きれいな川であることをアピールする看板等を設置するとゴミの投棄が減った経験がある。 ○数名の活動では住民の意識は変わりにくい。行政も含めて地域全体で取り組む必要がある。 ○将来的には、自治体や地域と連携してクリーン作戦等を実施していきたい。 ○産業廃棄物処分場からの水が直接川に流れている所もあり、改善に協力してほしい。 ○河川レンジャーとして、地域で抱える問題等を情報発信していくことも必要。 ○環境だけでなく治水との両立も考えていかなければならない。治水・利水なくして環境は語れない。将来どのように川を守っていくか、川をおさめていくかも考えていく必要がある。 		

感想
考察

淀川管内で活動されている河川レンジャーや流域で活動されている市民活動団体の方々との意見交換を行う中で、上流は下流のことを、下流は上流のことを、お互いが共通の認識を持つことの必要性が再認識された。

また、河川レンジャーとして地域で抱える課題等の情報発信や行政をはじめとする関係機関との連携を図りながら地域全体で意識を変えていくことが重要であると感じた。

今後も淀川管内河川レンジャーや市民活動団体との交流を深め、協働による活動実施につなげていきたい。

活動状況

意見交換会①



意見交換会②



意見交換会③



意見交換会④



意見交換会⑤



意見交換会⑥

